

危険の「見える化」事例集（第2集）

No.1 危険の「見える化」安全衛生活動事例

1－1：電気機械器具製造業（飯田市）

1－2：土木工事業（大町市）

1－3：建築工事業（飯田市）

No.2 危険の「見える化」改善事例

2－1：食料品製造業（長野市）

2－2：電気機械器具製造業（塩尻市）

平成26年10月

長野労働局 労働基準部 健康安全課

危険の「見える化」安全衛生活動事例

業 種：電気機械器具製造業
所 在 地：飯田市
労 働 者 数：３３人
好事例の対象：安全衛生情報の「見える化」

1. 工場の避難経路図を掲示しているもの。
避難経路・避難場所・消火器等の位置を図に示している。



[illegible]

定義	
	異常なし
	異常あり
	要定期清掃

危険の「見える化」安全衛生活動事例

業 種 : 土木工事業（砂防工事）
 所 在 地 : 大町市（現場所在地）
 労働者数 : 7名（現場入場者数）
 好事例の対象 : 安全衛生情報の「見える化」



河川の増水状況がわかるように、浮き式の竿をビニールパイプに入れて把握できるようにしたもの。



風量、雨量、土石流センサー（伸縮計）などを一体化した観測器。電光掲示板にて現在の雨量や風速を容易に把握できるようにしているほか、警報機により異常時には警報を発する。



危険の「見える化」安全衛生活動事例

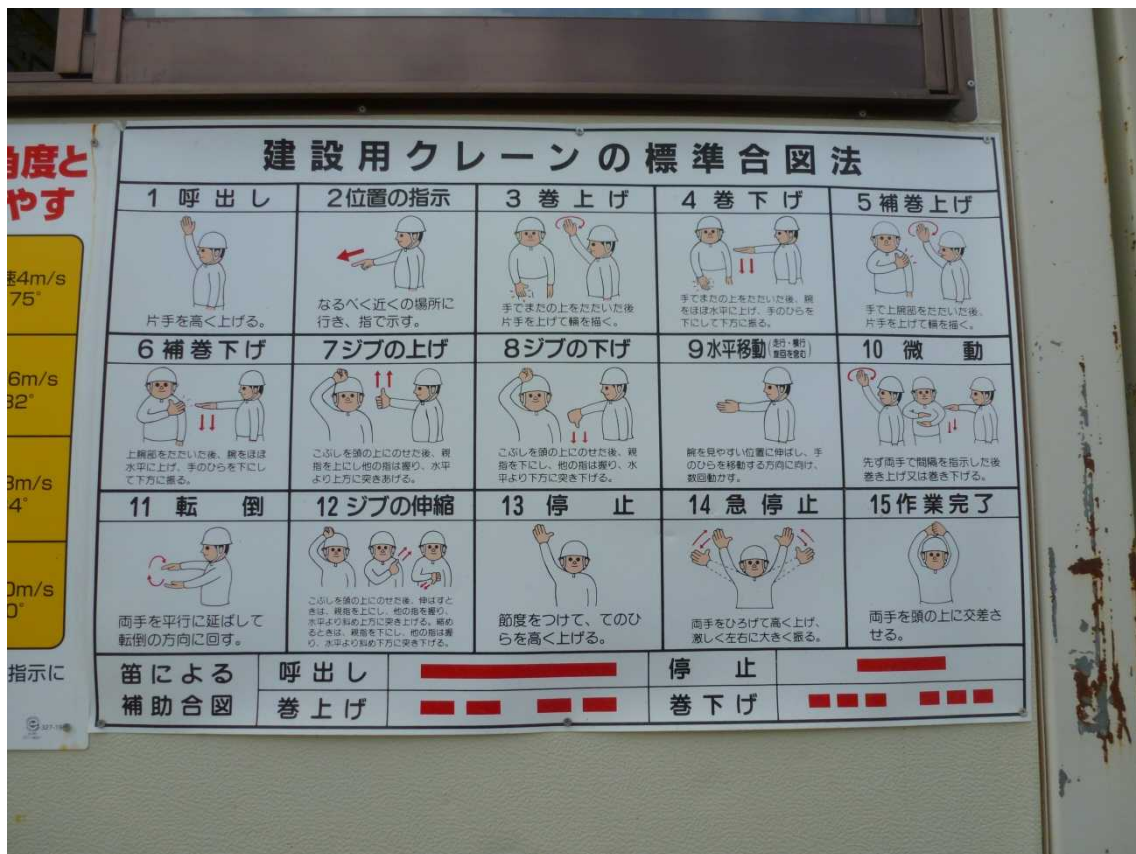
業 種：建築工事業

所 在 地：飯田市

労働者数：2人

好事例の対象：イ 安全衛生情報の「見える化」

1. 現場掲示板にクレーンの合図の方法に関する掲示物を掲示しているもの。
クレーンの合図の方法について、イラストを用いて分かりやすく説明している。

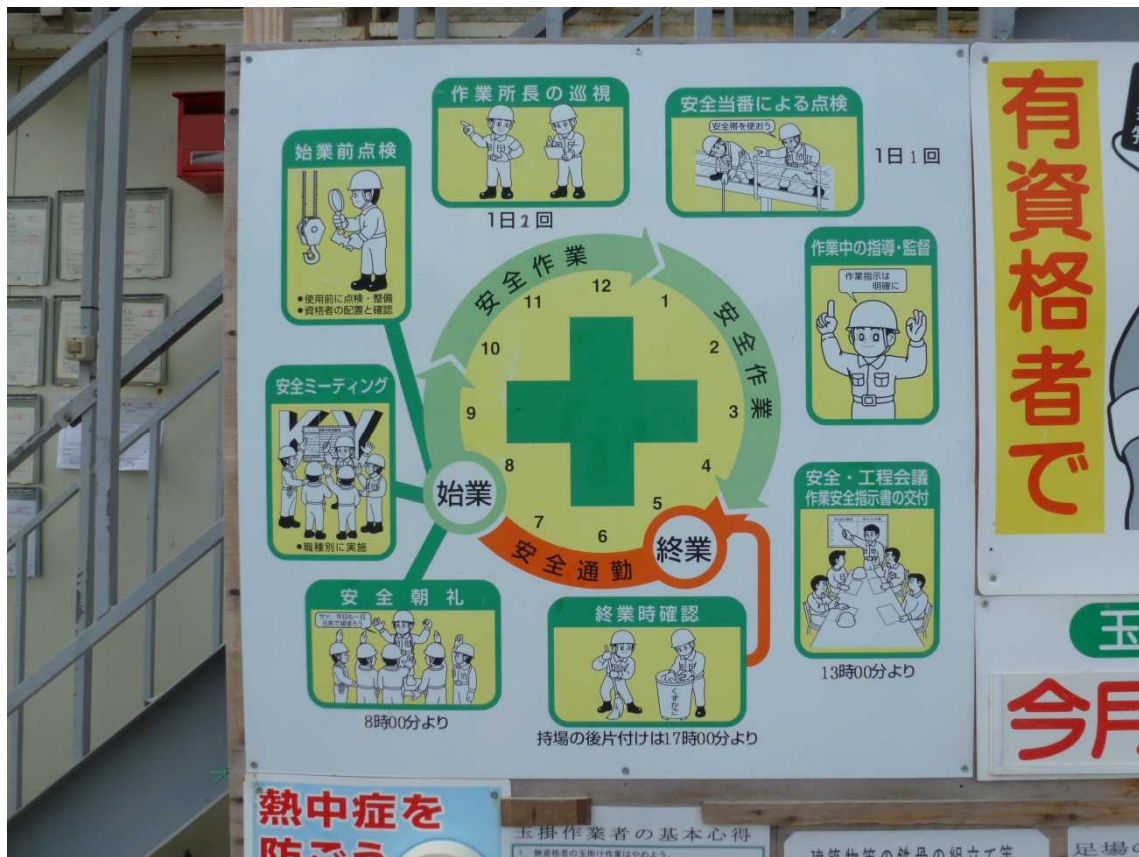


2. 現場掲示板に熱中症の症状と救急措置に関する掲示物を掲示しているもの。
熱中症の症状について、イラストを用いて分かりやすく解説している。



3. 現場掲示板に安全施工サイクルに関する掲示物を掲示しているもの。

始業から終業までの間に行う事項について、イラストを用いて分かりやすく解説している。



危険の「見える化」改善事例

業 種：食料品製造業 労働者数：300 人

所在地：長野市

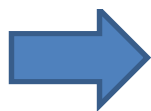
☆改善に至った契機

食品原料の仕込み作業を行うため、漉し機（内部にスクリーンコンベアがある機械）を使用して作業を行っていたところ、原料の吸い込みが悪くなったため、漉し機の上投入口から原料を手で押し込んだところ、吸い込み口の回転部分（スクリーン）に右手中指を巻き込まれ、指を切断した労働災害が発生したことを契機に、改善に着手した。

改善前（ホッパー下部のスクリーンがむき出しであった：○印の箇所）



改善後



格子状の安全柵を設置



近接スイッチ

☆改善状況

- ・ホッパー下部のスクリーンに手が届かないように格子状の安全柵を新たに設置した。
（格子寸法：約6 cm）
- ・近接スイッチを新たに設置し、ホッパーに安全柵が装着されていないと漉し機が作動しない構造とした。また、非常停止スイッチが無かったため、新たに非常停止スイッチを設置した。
- ・上記改善内容を盛り込んだ作業標準の改訂を行い、関係労働者に周知徹底を図った。

危険の「見える化」改善事例

～ 危険有害性又は安全の「見える化」 ～

業 種：電気機械器具製造業 労働者数：117 人

所在地：塩尻市

事例 I

事業場内通路の交差部等に「死角」があり、歩行者同士がぶつかる危険がある。

「死角」にいて見えない他の歩行者にいち早く気付くよう、天井等に凸面鏡（ドームミラー）を設置した。

誰も歩いていないようにみえる通路であるが…



凸面鏡を設置することで、死角位置（写真の事例では右側方向）から接近する他の歩行者を「見える化」した。

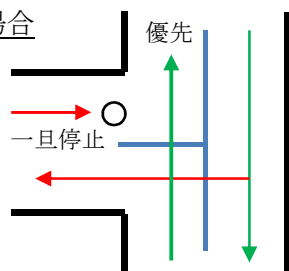
事例Ⅱ

事業場内通路の交差点等での歩行者同士の激突事故を防止するため、以下のような「工場内通行ルール」を作成し、ルールを遵守させることにより、事故防止につながっている。

工場内通行ルール

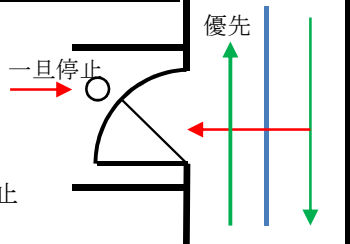
1.普通に通路を歩行する場合

左側通行が原則
交差点は直進が優先



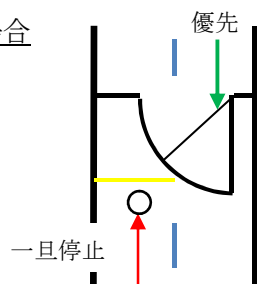
2.部屋又はトイレなどから出る場合

通路側が優先
出てくる人が一旦停止



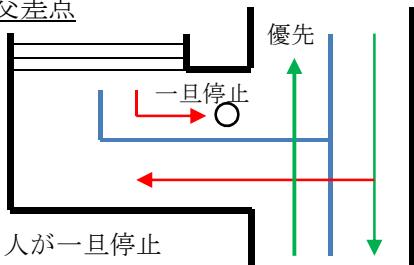
3.通路に仕切りドアがある場合

ドアが開いてくる側が
黄色テープの外で一旦停止



4.階段と通路の交差点

通路側が優先
階段側から来る人が一旦停止



◆「3.通路に仕切りドアがある場合」の実例

ドア右側が手前に開く（ドア左側は締切）ので、「向こう」から「こちら」へくる歩行者が優先。

「こちら」から「向こう」へむかう場合は、黄線で一旦停止する。



事例Ⅲ

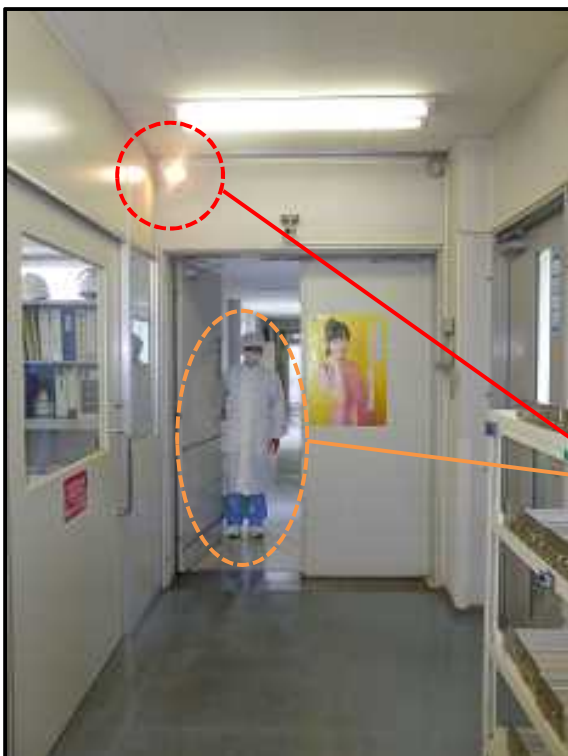
仕切りドア等の「向こう側の様子が見えないドア」が、突然開いてぶつかる事故を防ぐための対策。

ドア上部にセンサーライトが設置されており、ドアの反対側に人がいるとライトが点灯するようにセットされている。



① ドア上部に対人センサーとライトが設置されており

② ドア付近の人を感知すると、反対側のライトが点灯する



③ ドアの反対側にいるかもしれない「見えない人」を「見える化」することにより、突然開いたドアがぶつかる事故を防止している。